



平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年9月19日

上場会社名 日本オラクル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4716 URL <http://www.oracle.com/jp/corporate/investor-relations/index.html>
 代表者（役職名） 代表執行役社長兼CEO（氏名） 杉原博茂
 問合せ先責任者（役職名） 執行役副社長兼CFO（氏名） 野坂茂（TEL）03-6834-6666
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、証券アナリスト向け）

1. 平成27年5月期第1四半期の業績（平成26年6月1日～平成26年8月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	36,606	2.0	10,262	9.0	10,292	10.1	6,643	16.5
26年5月期第1四半期	35,877	△0.7	9,418	△3.9	9,351	△4.6	5,704	△4.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	52.23	52.19
26年5月期第1四半期	44.88	44.86

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年5月期第1四半期	149,706	90,091	59.5
26年5月期	154,002	94,401	60.6

（参考）自己資本 27年5月期第1四半期 89,140百万円 26年5月期 93,387百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	86.00	86.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	0.00	—	91.00	91.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の業績予想（平成26年6月1日～平成27年5月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	160,000	3.2	45,000	1.5	45,100	1.8	28,900	6.4	226.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社では年次の業績管理をしているため、第2四半期累計期間の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年5月期1Q	127,216,771株	26年5月期	127,202,871株
② 期末自己株式数	27年5月期1Q	7,375株	26年5月期	7,025株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年5月期1Q	127,202,191株	26年5月期1Q	127,092,810株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P4「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績の概要

当第1四半期累計期間(自平成26年6月1日至平成26年8月31日。以下、「当四半期」)においては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減はあったものの、政府の経済政策や金融政策により企業収益は引き続き改善基調にあり、お客様のIT投資意欲についても金融、流通サービス業に続き、製造等の業種においても回復基調にあります。

このような事業環境のもと、売上高は36,606百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益は10,262百万円(前年同期比9.0%増)、経常利益は10,292百万円(前年同期比10.1%増)、四半期純利益は6,643百万円(前年同期比16.5%増)となりました。

② 報告セグメント別の状況

[新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション]

売上高は8,769百万円(前年同期比2.3%減)となりました。また内訳につきましては、新規ライセンスの売上高は8,203百万円(前年同期比1.4%減)、クラウド・ソフトウェア・サブスクリプションの売上高は566百万円(前年同期比13.9%減)となりました。

当セグメントは企業等のIT基盤に利用される、データベース管理ソフトウェア、各種ミドルウェア、ERP等の業務アプリケーションソフトウェアの新規ライセンスを販売する「新規ライセンス」と、特定のソフトウェアやソフトウェア実行基盤をクラウド・コンピューティング環境でサービス利用型として提供する「クラウド・ソフトウェア・サブスクリプション」から構成されます。現在、多くの企業でITを活用した競争力強化の経営方針を進めています。当社は、グローバルで採用されているソフトウェア製品および関連サービスを、顧客企業に総合的な提案をする営業施策を積極的に進めてまいりました。

製品面では、新規ライセンスについては、革新的なインメモリ技術によりデータベースの処理性能を飛躍的に向上させ、ソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)やインターネット・オブ・シングス(IOT)など、ヒトとモノ、モノとモノの間でやりとりされる膨大なデータのリアルタイム分析環境を構築する「Oracle Database In-Memory」の提供を、平成26年7月に開始しました。

また、クラウド・ソフトウェア・サブスクリプションについては、包括的なマーケティングプラットフォームにより顧客データを一元管理し、見込み客ごとに最適なメッセージを最適なタイミングで発信し、マーケティングROIの最大化を支援する「Oracle Marketing Cloud」、これまで自社運用形式(オンプレミス)で提供してまいりました経営管理ソリューション「Oracle Hyperion」の予算管理、管理会計などの機能をSaaS形式で提供する「Oracle Planning and Budgeting Cloud Service」の提供を、平成26年8月に開始しました。今後、付加価値の高い製品・サービスをさらに拡充するとともに、パートナー企業との協業を含めた営業・マーケティング活動を強力に推進し、ユーザー数の拡大を行ってまいります。

[アップデート&プロダクト・サポート]

売上高は18,042百万円(前年同期比7.4%増)となりました。

当セグメントは、ライセンスを利用されているお客様に更新版等のアップデートや技術サポートを提供しております。

導入製品や利用環境に応じたプロアクティブ(事前対処的)、かつプリベンティブ(予防的)なサポートを提供する「My Oracle Support」等、製品を利用されているお客様に対するサポートの価値訴求や、特にパートナー様との協業を推進し、新規にライセンスを購入されたお客様からの新規契約と既存のお客様からの契約更新を確保し、堅調に推移しました。

【ハードウェア・システムズ】

売上高は5,615百万円（前年同期比5.0%減）となりました。

当セグメントは、サーバー、ストレージ、エンジニアド・システム、ネットワーク機器等のハードウェアの販売およびそれらのオペレーティングシステム（OS）や関連ソフトウェアを提供する「ハードウェア・システムズ・プロダクト」、ハードウェア製品の技術サポート、修理、メンテナンスの提供およびOS等関連ソフトウェアの更新版等の提供を行う「ハードウェア・システムズ・サポート」から構成されます。

ハードウェア・システムズ・プロダクトの売上高は3,135百万円（前年同期比10.3%減）となりました。前年同期の大型案件の反動減の影響はありましたが、高速化対応、システムの早期稼働、システム統合における「Oracle Exadata Database Machine」を中心とするエンジニアド・システムに対する需要は引き続き堅調で、強力に営業を推進してまいります。

ハードウェア・システムズ・サポートの売上高は2,479百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

【サービス】

売上高は4,178百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

当セグメントは、当社製品の導入支援を行う「コンサルティングサービス」、予防保守サービスやお客様のIT環境の包括的な運用管理サービスを提供する「アドバンストカスタマーサポートサービス(注)」、技術者や利用者向けの研修事業や技術資格の認定事業を提供する「エデュケーションサービス」から構成されております。

アドバンストカスタマーサポートサービスの予防保守サービスが「Oracle Exadata Database Machine」向けに引き続き好調に推移しました。

(注) 従来のマネージド・クラウドサービスから名称を変更いたしました。

＜報告セグメント別売上高の状況＞

区分	平成26年5月期 第1四半期		平成27年5月期 第1四半期			平成26年5月期	
	金額	構成比	金額	構成比	対前年 同期比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
新規ライセンス	8,318	23.2	8,203	22.4	△1.4	42,874	27.7
クラウド・ソフトウェア・サブスクリプション	657	1.8	566	1.5	△13.9	2,591	1.7
新規ライセンスおよびクラウド・ソフトウェア・サブスクリプション	8,976	25.0	8,769	24.0	△2.3	45,466	29.3
アップデート&プロダクト・サポート	16,795	46.8	18,042	49.3	7.4	68,594	44.3
ソフトウェア関連	25,771	71.8	26,812	73.2	4.0	114,060	73.6
ハードウェア・システムズ・プロダクト	3,495	9.7	3,135	8.6	△10.3	13,724	8.9
ハードウェア・システムズ・サポート	2,416	6.7	2,479	6.8	2.6	9,808	6.3
ハードウェア・システムズ	5,911	16.5	5,615	15.3	△5.0	23,532	15.2
サービス	4,193	11.7	4,178	11.4	△0.4	17,378	11.2
合計	35,877	100.0	36,606	100.0	2.0	154,972	100.0

(注) 金額は単位未満を切り捨て、構成比ならびに対前年同期比は単位未満を四捨五入で表示しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は149,706百万円（前事業年度末比4,295百万円減）となりました。流動資産は108,737百万円（前事業年度末比4,097百万円減）となりました。

負債は59,615百万円（前事業年度末比14百万円増）、純資産は90,091百万円（前事業年度末比4,309百万円減）となりました。この結果、自己資本比率は59.5%（前期末比1.1ポイントダウン）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月26日に発表いたしました平成27年5月期の業績予想より変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・ 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,536	92,906
売掛金	18,770	11,810
商品及び製品	0	—
短期貸付金	48,500	—
その他	4,031	4,024
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	112,835	108,737
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	13,065	12,879
土地	26,057	26,057
その他(純額)	1,288	1,276
有形固定資産合計	40,411	40,212
無形固定資産	10	9
投資その他の資産		
その他	750	750
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	745	746
固定資産合計	41,167	40,968
資産合計	154,002	149,706
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,963	7,484
未払金	3,534	4,140
未払法人税等	8,609	3,722
前受金	34,118	39,858
賞与引当金	1,880	821
その他の引当金	246	209
その他	2,241	3,371
流動負債合計	59,593	59,607
固定負債		
その他	7	7
固定負債合計	7	7
負債合計	59,601	59,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,506	22,532
資本剰余金	5,857	5,882
利益剰余金	65,053	60,758
自己株式	△30	△32
株主資本合計	93,387	89,140
新株予約権	1,013	950
純資産合計	94,401	90,091
負債純資産合計	154,002	149,706

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	35,877	36,606
売上原価	18,856	19,103
売上総利益	17,020	17,502
販売費及び一般管理費	7,601	7,240
営業利益	9,418	10,262
営業外収益		
受取利息	19	15
為替差益	—	12
その他	2	2
営業外収益合計	22	30
営業外費用		
その他	89	0
営業外費用合計	89	0
経常利益	9,351	10,292
特別利益		
新株予約権戻入益	8	81
特別利益合計	8	81
特別損失		
投資有価証券売却損	0	—
事業構造改善費用	99	—
特別損失合計	99	—
税引前当期純利益	9,260	10,374
法人税等	3,556	3,731
四半期純利益	5,704	6,643

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上 額 (注)2
	新規 クラウド ソフト ウェア クリ ン	ライ ス ン ス お よ び ア ッ プ デ ー ト & プ ロ ダ ク ト ・ サ ポ ー ト	ハード ウェア ・ シ ス テ ム ズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,976	16,795	5,911	4,193	35,877	—	35,877
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,976	16,795	5,911	4,193	35,877	—	35,877
セグメント利益	488	8,754	292	943	10,479	△1,060	9,418

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,060百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上 額 (注)2
	新規 クラウド ソフト ウェア クリ ン	ライ ス ン ス お よ び ア ッ プ デ ー ト & プ ロ ダ ク ト ・ サ ポ ー ト	ハード ウェア ・ シ ス テ ム ズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,769	18,042	5,615	4,178	36,606	—	36,606
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,769	18,042	5,615	4,178	36,606	—	36,606
セグメント利益	760	9,672	276	648	11,358	△1,095	10,262

(注) 1. セグメント利益の調整額1,095百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。